（逓信省認可）　（本號六圓）　明治二十二年十二月十二日　（定價金二錢）

時事新報

時事新報は一年三百六十五日一日も休刊無し

第二千四百七十一號
明治廿二年十一月十二日火曜日
齎暦巳丑十月二十日（壬、辰）
日出午前六時十五分　日入午後四時三十五分
月出午後八時零一分　月入午前十時零四分
纒向午後八時零五分　満潮午前七時四十八分
（西暦一千八百八十九年）

特事新報定價
特事新報へ一年三百六十五日一日も休刊もゝ其代價逓送料廣告料へ左ノ如し
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓
〇時事新報社より直接ニ郵便ニテ逓送スルモノニ限り右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ逓送料ヲ申受ク
特事新報廣告料前金

	一日限	二日以上六日迄	七日以上
一行五號活字廿四字詰	一行ニ付十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日并に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日を限り特事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵逓する分は此外に貼用する郵便印紙の代價を申受く可し

時事新報

議會并に議員の保護

近來各地方よりは往々議會并に議員に對して不穏の擧動少なからず或は議場の傍聽席より議事を妨げ或は議員に向て辭職を脅迫し甚しきは之を要撃するなどの事も間々みゝあるより其筋にては容易ならざる事と認め議會并に議員の保護に關する法律を制定發布す可しとの風説先頃より世間に行はれたれども我輩は元來右の擧動を以て一時の兒戯に出でたるものとなし之を處分するには別に臨機の手段もあらん之が爲めに新法律を作るの必要もなかる可しとて深く意に介せざりしに風説却て盛あらず去る七日を以て議會并に議員の保護に關する法律第二十八號の公布あるに至れり之を見るに頗る丁寧深切のものよして議會并に議員を保護するの注意は至れり盡せりと云ふの外ある可らず政府たるものが一國の治安を保つ爲め人民の權利自由を保護するの精神は勿論ある可き等なれども抑も此の法律が今日の社會に出現したる原因を尋ぬるときは其事たる甚だ埒ならずして我輩は窃に國民と共に赤面せざるを得ず申す迄もなく議會は人民參政の場所にして議員は人民の爲めに其參政權を代表するものなり之を訴訟の事に喩へて云へば議員は人民の代言人にして其相手なる政府に向て訴訟を爲すものと云ふも可なり然るに其依頼者が已れの代言人に對して亂暴を働きたるが爲め却て相手ある他人の注意保護を受くるに至りては殆んど言語に絶えたるの始末なりと云はざるを得ず左れば人民にして議會の權利を傷くるは自ら已れの權利を傷くるものにして狂人の所爲と外あらず狂人の所爲は深く意に介するを足らざれども政府は人民の權利を保護するを以て職掌と爲すものあれば其職掌よりして狂人の所爲を始末するも亦止むを得ざるの處置にして毫も非職する所ある可らず我輩は唯世に狂人の少なからずして斯る法律の必要となりたるを悲しむのみ然りと雖も翻みて其平生を察すれば我國多數の人民は決して自から其權利を輕んずるものよあらず明治十二年府縣會の開設以來今日に至るまでの經歴より見るに人民が參政の權利を重んじて敢て輕卒ならざるの迹は著々顯はれきのみならず本年より始まりたる市町村會の近例よ徴するも益々その然る所以の實を知るに足る可し並し近來三三の地方よ於て穏かならぬ沙汰ありしは畢竟時節柄とて政黨上昇の餘症よ觸れ田舎地方の發狂人が偶ま〳〵狂態を演じたるまでの事にして之を以て全國一般の人民を評す可きにあらず我輩の深く念頭に掛けざる所なれども唯〳〵に注意す可きは明年開設の帝國議會などに時として云々の沙汰ありしとて發狂人の騒動と見れば夫よて濟ひ事なれども若し萬一も帝國議會の議場に坂る不體裁を見るに至りては第一憲法に向て申譯なきは勿論、海外萬國に對して日本國の不面目の上ある可らず左れば我輩人民たるものは互に相戒めて今後萬一にも此法律をして有効たらしめざる樣心掛くるこそ專一ある可し

官報

省告示第四十五號
神奈川縣愛甲郡高津村溝口六百四十八番地　村田芳助發行
一諸物品切手　一枚
東京府荏原郡南品川町八十番地寄留
一飲食名呼紙　一枚
（遊戯取締）飲食名呼紙取扱心得書　一冊　吉野直吉發行
右出版物ハ風俗ヲ壊亂スルモノト認メ其發賣頒布ヲ禁止ス
明治二十二年十一月十一日　内務大臣伯爵山縣有朋

○海軍省告示第十六號
現役軍樂手ノ免役願書ハ海軍軍樂練習所ニ出レ造兵廠火藥工廠勤務技工ノ免役願書ハ各其廠ニ出スベシ
明治二十二年十一月十一日　海軍大臣伯爵西鄕從道

○逓信省告示第二百十九號
本月十六日ヨリ左ノ郵便局ヲ郵便電信局ト爲シ其事務ヲ取扱ハシム
但當分ノ内歐文電報ハ取扱ハズ
和文電報ハ取扱ハズ
明治二十二年十一月十一日　逓信大臣伯爵後藤象二郎
郵便局名　臼田郵便電信局
信濃國南佐久郡　岩村田郵便電信局
信濃國北佐久郡

○叙任及辞令
公使館參事官從五位　周布公平
兼任外務省參事官（奏任一等）
廣嶋縣四等技師正七位　小花冬吉
兼任農商務四等技師（奏任四等）（以上本月八日）
元老院議官　野村素介
元老院議官　田中芳男
元老院議官　前田正名
帝國博物館事務委員　石川千代松
帝國博物館事務委員被仰付
工科大學助教授　的場中
理科大學助教授　石川千代松
帝國博物館事務委員被仰付
手當トシテ一箇年三百圓下賜（以上十一月八日内閣）
公使館參事官　周布公平
在羅馬公使館在勤ヲ免ス（十一月八日外務省）

○支出證明規程
會計檢査院に於ては支出證明規程を左の通定め本月八日各廳へ通達せり
第一條　會計規則第九十五條ニ據リ會計主務官ノ證明スベキ支出計算書ハ第一號書式ニ據リ各仕拂豫算ニ區分調製スベシ〇第二條　支出計算書提出ノ期ニ際シ若シ概算渡ノ精算ニ至フザルモノアルトキハ別ニ其理由及完結期限ヲ記載セル書面ヲ提出スベシ」前項未精算ノ分ニ付テハ其計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ之ヲ證明スベシ〇第三條　一會計年度中會計主務官ノ交替アリシトキ後任會計主務官ノ證明スベキ支出計算書ニ於テハ尚ホ前任會計主務官ハ一會計年度出納事務完結スルニ隨ヒ歳出濟ノ結果ニ依リ計算表ヲ調製シ之ヲ提出スベシ〇第五條　一仕拂豫算中數屆課ヲ包含スルモノハ其計算書ハ屆課（局中ノ課ハ區分ヲ要セズ）ノ區分ニ從ヒ各屆ニ區分シテ證憑書類ヲ添附スベシ〇第六條　支出計算書ニ屬スル證憑書類ハ毎月之ヲ整理シ第二號書式ニ依リ仕拂內譯書ヲ調製シ該證憑書類ト共ニ下檢査官吏ニ送附スベシ但シ第一部歳出ニ係ルモノハ此限ニアラズ」年度經過後ニ發シタル仕拂命令ニ屬スル證憑書類ハ毎月證明ヲ要セズ終結ニ至リ一併ニ整理送附スベシ」年度內ノ概算支出ニシテ年度經過後ニ至リ精算スルモノモ亦前項ニ同フ〇第七條　會計規則第九十八條ニ據リ現金前渡ヲ受ケタル官吏ヨリ提出スベキ仕拂計算書ハ第三號書式ニ依リ之ヲ調製スベシ」本條計算書ノ精算額ノ會計主務官ニ於テ仕拂內譯書精算高ヘ併算スベシ〇第八條　左ノ事項中一ヨリ五ニ至ル五項ハ支出計算書備考ニ六七ノ二項ハ仕拂內譯書備考ニ八ヨリ十一ニ至ル四項ハ支出計算書及仕拂內譯書ノ備考ニ記載スベシ但シ事項ノ複雜ニ渉ルモノハ說明書若クハ其所由ヲ確認シ得ベキ書類ヲ添附スベシ

一　豫算各目ノ金額及事項ニ增減異動ヲ生ヲタルトキハ其事由
二　在來物品ヲ建築修繕ニ供用セシ時ハ共種類及價格
三　數年ヲ期シテ竣工スベキ工事製造其他ノ事業ニシテ繼續費トシテ總額ヲ定メタルモノハ其總額及前年度迄ニ支拂濟ノ金額
四　會計規則第八十八條ニ據リ各省大臣ヨリ損失金ノ辨償ヲ命ゼラレタルトキハ其金額事由
五　調定額中若シ赤精算ノモノアルトキハ其金額
六　支拂期限ノ定リタルモノニシテ其期月ニ先チ又ハ後レテ支拂ヲナシ若クハ死亡退職等ノ事故ニ依リ支給ヲ止メタルモノアルトキハ其金額事由
七　檢査上批難ヲ受ケタル事項ニ對シ更正又ハ追給ヲナシタルトキハ其金額事由
八　豫備金ヲ以テ補充支辨シタルトキハ其費途金額
九　會計規則第三十七條第二項ニ據リ特命調定ヲナシタルトキハ其金額事由
十　誤拂過渡若クハ前金渡概算渡替拂ノ返納ニ依リ歳入ニ編入シ又ハ編入スベキモノアルトキハ其金額事由
十一　過年度ニ屬スル經費ヲ支出セシモノアルトキハ其所屬年度及金額事由

右ノ外仕拂命令官ニ於テ本屬長官ノ命令又ハ其認許ヲ受クルニアラザレバ支出スルヲ得サル費途若クハ法律命令及計算ノ基ク所ヲ示サヽレハ明瞭ナラサルモノ其他特殊ノ事項ハ各其金額事由ヲ計算書若クハ內譯書ニ掲載スベシ」現金前渡ヲ受ケタル官吏ヨリ提出スベキ仕拂計算書ノ備考ハ前項ニ準シ適宜之ヲ掲載スベシ

第二章　證憑書類

第九條　支出證明上證憑書類トシテ提出スベキモノハ正當受取人ノ領收證書工事及物件ノ購買借入ニ關スル各種契約書其他事實ノ確實ヲ證スル書類トス〇第十條證憑書類ハ原本ニ限ル若シ其原本ヲ提出シ難キ場合ニ於テハ當該官吏ノ保證アル謄本ヲ以テスベシ〇第十一條　會計規則第八十條第八十一條ニ基キ取結ヘタル工事及物件ノ購買借入ニ關スル競爭契約書ニハ左ノ書面ヲ添付スベシ

一　工事若クハ購買借入ニ係ル物件必要ノ理由書
二　會計規則第七十四條ニ基キヘタル公告書
三　落札者其工事又ハ物品供給ニ二年以來從事セル證明書
四　豫定價格調書
五　落札以下三番札迄

第十二條　會計規則第八十二條ニ基キ取結ヘタル隨意契約書ニハ其隨意契約ニ據リシ理由及工事若クハ物件ノ必要ナル理由ノ說明書並工事又ハ物品供給ニ二年以來從事セル證明書ヲ添付スベシ但シ竊ニ年以來物品ノ供給ヲ繼續シ且其價額五百圓ヲ超エザルモノハ此限ニアラズ〇第十三條　工事ノ既濟部分又ハ物品ノ既納部分ニ對シ支出計算書ハ第一號書式ニ據リ各仕拂豫算ニ區分調製スベシ〇第二條　支出計算書提出ノ期ニ際シ若シ概算渡ノ精算ニ至フザルモノアルトキハ別ニ其理由及完結期限ヲ記載セル書面ヲ提出スベシ」前項未精算ノ分ニ付テハ其計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ之ヲ證明スベシ〇第三條　一會計年度中會計主務官ノ交替アリシトキ後任會計主務官ノ證明スベキ支出計算書ニ於テハ尚ホ前任會計主務官ハ一會計年度出納事務完結スルニ隨ヒ歳出濟ノ結果ニ依リ計算表ヲ調製シ之ヲ提出スベシ〇第五條　一仕拂豫算中數屆課ヲ包含スルモノハ其計算書ハ局課（局中ノ課ハ區分ヲ要セズ）ノ區分ニ從ヒ各屆ニ區分シテ證憑書類ヲ添附スベシ〇第六條　支出計算書ニ屬スル證憑書類ハ毎月之ヲ整理シ第二號書式ニ依リ仕拂內譯書ヲ調製シ該證憑書類ト共ニ下檢査官吏ニ送附スベシ但シ第一部歳出ニ係ルモノハ此限ニアラズ」年度經過後ニ發シタル仕拂命令ニ屬スル證憑書類ハ毎月證明ヲ要セズ終結ニ至リ一併ニ整理送附スベシ」年度內ノ概算支出ニシテ年度經過後ニ至リ精算スルモノモ亦前項ニ同フ〇第七條　會計規則第九十八條ニ據リ現金前渡ヲ受ケタル官吏ヨリ提出スベキ仕拂計算書ハ第三號書式ニ依リ之ヲ調製スベシ」本條計算書ノ精算額ノ會計主務官ニ於テ仕拂內譯書精算高ヘ併算スベシ〇第八條　左ノ事項中一ヨリ五ニ至ル五項ハ支出計算書備考ニ六七ノ二項ハ仕拂內譯書備考ニ八ヨリ十一ニ至ル四項ハ支出計算書及仕拂內譯書ノ備考ニ記載スベシ但シ事項ノ複雜ニ渉ルモノハ說明書若クハ其所由ヲ確認シ得ベキ書類ヲ添附スベシ

一　豫算各目ノ金額及事項ニ增減異動ヲ生ヲタルトキハ其事由
二　在來物品ヲ建築修繕ニ供用セシ時ハ共種類及價格
三　數年ヲ期シテ竣工スベキ工事製造其他ノ事業ニシテ繼續費トシテ總額ヲ定メタルモノハ其總額及前年度迄ニ支拂濟ノ金額
四　會計規則第八十八條ニ據リ各省大臣ヨリ損失金ノ辨償ヲ命ゼラレタルトキハ其金額事由
五　調定額中若シ赤精算ノモノアルトキハ其金額
六　支拂期限ノ定リタルモノニシテ其期月ニ先チ又ハ後レテ支拂ヲナシ若クハ死亡退職等ノ事故ニ依リ支給ヲ止メタルモノアルトキハ其金額事由
七　檢査上批難ヲ受ケタル事項ニ對シ更正又ハ追給ヲナシタルトキハ其金額事由
八　豫備金ヲ以テ補充支辨シタルトキハ其費途金額
九　會計規則第三十七條第二項ニ據リ特命調定ヲナシタルトキハ其金額事由
十　誤拂過渡若クハ前金渡概算渡替拂ノ返納ニ依リ歳入ニ編入シ又ハ編入スベキモノアルトキハ其金額事由
十一　過年度ニ屬スル經費ヲ支出セシモノアルトキハ其所屬年度及金額事由

右ノ外仕拂命令官ニ於テ本屬長官ノ命令又ハ其認許ヲ受クルニアラザレバ支出スルヲ得サル費途若クハ法律命令及計算ノ基ク所ヲ示サヽレハ明瞭ナラサルモノ其他特殊ノ事項ハ各其金額事由ヲ計算書若クハ內譯書ニ掲載スベシ」現金前渡ヲ受ケタル官吏ヨリ提出スベキ仕拂計算書ノ備考ハ前項ニ準シ適宜之ヲ掲載スベシ

第二章　證憑書類

第九條　支出證明上證憑書類トシテ提出スベキモノハ正當受取人ノ領收證書工事及物件ノ購買借入ニ關スル各種契約書其他事實ノ確實ヲ證スル書類トス〇第十條證憑書類ハ原本ニ限ル若シ其原本ヲ提出シ難キ場合ニ於テハ當該官吏ノ保證アル謄本ヲ以テスベシ〇第十一條　會計規則第八十條第八十一條ニ基キ取結ヘタル工事及物件ノ購買借入ニ關スル競爭契約書ニハ左ノ書面ヲ添付スベシ

一　工事若クハ購買借入ニ係ル物件必要ノ理由書
二　會計規則第七十四條ニ基キヘタル公告書
三　落札者其工事又ハ物品供給ニ二年以來從事セル證明書
四　豫定價格調書
五　落札以下三番札迄

第十二條　會計規則第八十二條ニ基キ取結ヘタル隨意契約書ニハ其隨意契約ニ據リシ理由及工事若クハ物件ノ必要ナル理由ノ說明書並工事又ハ物品供給ニ二年以來從事セル證明書ヲ添付スベシ但シ竊ニ年以來物品ノ供給ヲ繼續シ且其價額五百圓ヲ超エザルモノハ此限ニアラズ〇第十三條　工事ノ既濟部分又ハ物品ノ既納

（各通）
農商務省農務局長　前田正名
第三回內國勸業博覽會審査官被仰付
工科大學助教授　的場中
理科大學助教授　石川千代松
帝國博物館事務委員被仰付
帝國博物館事務委員　石川千代松
手當トシテ一箇年三百圓下賜（以上十一月九日宮內省）
公使館參事官　周布公平
支出證明規程
會計檢査院に於ては支出證明規程を左の通定め本月八日各廳へ通達せり
第一條　會計規則第九十五條ニ據リ會計主務官ノ證明スベキ支出計算書ハ第一號書式ニ據リ各仕拂豫算ニ區分調製スベシ〇第二條　支出計算書提出ノ期ニ際シ若シ概算渡ノ精算ニ至フザルモノアルトキハ別ニ其理由及完結期限ヲ記載セル書面ヲ提出スベシ」前項未精算ノ分ニ付テハ其計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ之ヲ證明スベシ〇第三條　一會計年度中會計主務官ノ交替アリシトキ後任會計主務官ノ證明スベキ支出計算書ニ於テハ尚ホ前任會計主務官ハ一會計年度出納事務完結スルニ隨ヒ歳出濟ノ結果ニ依リ計算表ヲ調製シ之ヲ提出スベシ〇第五條　一仕拂豫算中數屆課ヲ包含スルモノハ其計算書ハ局課（局中ノ課ハ區分ヲ要セズ）ノ區分ニ從ヒ各屆ニ區分シテ證憑書類ヲ添附スベシ〇第六條　支出計算書ニ屬スル證憑書類ハ毎月之ヲ整理シ第二號書式ニ依リ仕拂內譯書ヲ調製シ該證憑書類ト共ニ下檢査官吏ニ送附スベシ但シ第一部歳出ニ係ルモノハ此限ニアラズ」年度經過後ニ發シタル仕拂命令ニ屬スル證憑書類ハ毎月證明ヲ要セズ終結ニ至リ一併ニ整理送附スベシ」年度內ノ概算支出ニシテ年度經過後ニ至リ精算スルモノモ亦前項ニ同フ〇第七條　會計規則第九十八條ニ據リ現金前渡ヲ受ケタル官吏ヨリ提出スベキ仕拂計算書ハ第三號書式ニ依リ之ヲ調製スベシ」本條計算書ノ精算額ノ會計主務官ニ於テ仕拂內譯書精算高ヘ併算スベシ〇第八條　左ノ事項中一ヨリ五ニ至ル五項ハ支出計算書備考ニ六七ノ二項ハ仕拂內譯書備考ニ八ヨリ十一ニ至ル四項ハ支出計算書及仕拂內譯書ノ備考ニ記載スベシ但シ事項ノ複雜ニ渉ルモノハ說明書若クハ其所由ヲ確認シ得ベキ書類ヲ添附スベシ

一　豫算各目ノ金額及事項ニ增減異動ヲ生ヲタルトキハ其事由
二　在來物品ヲ建築修繕ニ供用セシ時ハ共種類及價格
三　數年ヲ期シテ竣工スベキ工事製造其他ノ事業ニシテ繼續費トシテ總額ヲ定メタルモノハ其總額及前年度迄ニ支拂濟ノ金額
四　會計規則第八十八條ニ據リ各省大臣ヨリ損失金ノ辨償ヲ命ゼラレタルトキハ其金額事由
五　調定額中若シ赤精算ノモノアルトキハ其金額
六　支拂期限ノ定リタルモノニシテ其期月ニ先チ又ハ後レテ支拂ヲナシ若クハ死亡退職等ノ事故ニ依リ支給ヲ止メタルモノアルトキハ其金額事由
七　檢査上批難ヲ受ケタル事項ニ對シ更正又ハ追給ヲナシタルトキハ其金額事由
八　豫備金ヲ以テ補充支辨シタルトキハ其費途金額
九　會計規則第三十七條第二項ニ據リ特命調定ヲナシタルトキハ其金額事由
十　誤拂過渡若クハ前金渡概算渡替拂ノ返納ニ依リ歳入ニ編入シ又ハ編入スベキモノアルトキハ其金額事由
十一　過年度ニ屬スル經費ヲ支出セシモノアルトキハ其所屬年度及金額事由

右ノ外仕拂命令官ニ於テ本屬長官ノ命令又ハ其認許ヲ受クルニアラザレバ支出スルヲ得サル費途若クハ法律命令及計算ノ基ク所ヲ示サヽレハ明瞭ナラサルモノ其他特殊ノ事項ハ各其金額事由ヲ計算書若クハ內譯書ニ掲載スベシ」現金前渡ヲ受ケタル官吏ヨリ提出スベキ仕拂計算書ノ備考ハ前項ニ準シ適宜之ヲ掲載スベシ

第二章　證憑書類

第九條　支出證明上證憑書類トシテ提出スベキモノハ正當受取人ノ領收證書工事及物件ノ購買借入ニ關スル各種契約書其他事實ノ確實ヲ證スル書類トス〇第十條證憑書類ハ原本ニ限ル若シ其原本ヲ提出シ難キ場合ニ於テハ當該官吏ノ保證アル謄本ヲ以テスベシ〇第十一條　會計規則第八十條第八十一條ニ基キ取結ヘタル工事及物件ノ購買借入ニ關スル競爭契約書ニハ左ノ書面ヲ添付スベシ

一　工事若クハ購買借入ニ係ル物件必要ノ理由書
二　會計規則第七十四條ニ基キヘタル公告書
三　落札者其工事又ハ物品供給ニ二年以來從事セル證明書
四　豫定價格調書
五　落札以下三番札迄

第十二條　會計規則第八十二條ニ基キ取結ヘタル隨意契約書ニハ其隨意契約ニ據リシ理由及工事若クハ物件ノ必要ナル理由ノ說明書並工事又ハ物品供給ニ二年以來從事セル證明書ヲ添付スベシ但シ竊ニ年以來物品ノ供給ヲ繼續シ且其價額五百圓ヲ超エザルモノハ此限ニアラズ〇第十三條　工事ノ既濟部分又ハ物品ノ既納